

心理士さんに質問!

Q: “やりっぱなし” “好きなことしかしない” …これって、子どもの「性格」なのでしょうか。何かよい方法はありますか?

A: 「性格」を “気が散りやすい特徴” や “好きなことに集中しやすい特徴” というように、困った行動の「わけ」を**発達の特徴**として探ってみるのはどうでしょう。子どもの「わけ(特徴)」がわかると、それに合った**新しい関わり方**の発見があるかもしれません。

どうして保育園の準備をしないんだろう…
「困った行動」の「わけ」を探っていく

新しい関わり方の発見

(困った行動・気になる姿)

「テレビを見ることがやめられず、毎朝の準備をしない」

解説動画



(行動) 上の姿を詳しく見ていくと…

- ・大きな声で呼んでも気づかないほどに集中している
- ・「返事」はするが、今の行動(テレビを見る)を続ける
- ・どのくらい時間がたったか気づいていない

(わけ) 考えられる発達の特徴

- ・ひとつのことに集中し過ぎてしまいやすい
- ・耳から聞くこと(お母さんの声)よりも、見えるもの(TV画面)のほうに注意が向きやすい
- ・声は聞こえていても、何を言われているのか、相手が自分にどうしてほしいのかがパッと頭で浮かびにくい
- ・「時間の感覚」が持ちにくい

特徴にあった関わり方

準備をしようね!

- ・子どもの目の前に立つ
- ・大人に意識を向けさせる

「言葉」+「見てわかる物(具体的な物)」
＝保育園のカバン」ではっきり伝える

春は近づきつつありますが、寒さは冬本番ですね! あたたくして過ごしましょう。さて、皆さんは日頃、「落ち着きがない」「こだわりが強い」「切り替えが苦手」「すぐに手が出る」など…子どもの困った行動や気になる姿に対してどのように対応していますか? 一所懸命に伝えても、なかなか改善が見られないことも多いですね。今回は、「テレビを見ることがやめられず、毎朝の準備ができない」という子どもの行動について考えます。「どうして準備をしないんだろう」という、困った行動の「わけ」を探っていくことで、新しい関わり方を見つけていきましょう!

甲賀市発達支援課 令和7年2月(季月発行)

冰山モデル

子どもの「気になる姿」「困った行動」の背景にある「わけ(発達の特徴)」に注目し、関わり方を見つけていこうという考え方を紹介します。

氷山の**見えている部分**

…困った行動・気になる姿

【行動】

- ・テレビを見ることがやめられず、毎朝の準備をしない

水面上

見えている部分は全体のごく一部

氷山の**見えていない部分**

…わけ(発達の特徴)
＝脳の働き方のタイプ

【発達の特徴の例】

- ・集中しすぎて次のことに切り替えにくい
- ・見える物に注意が向きやすい
- ・言葉だけでは何を言われているのかわかりにくい

水面下

見えていない部分の方が大きい

氷山が**浮かんでいる海水**

…子どもの周りの環境

【環境要因の例】

- ・テレビがついている
- ・見たい番組がある時間帯
- ・離れたところから声をかけている
- ・長い文章で伝えている

水面下を見ることが重要



氷山モデルの解説動画

水面上の子どもの気になる姿や困った行動は、水面下の「わけ(発達の特徴)」と「まわりの環境(大人の関わり方、音や光などの空間条件、子どもの体調など)」とが影響し合いながら、起こっています。水面下の「わけ(発達の特徴)」は、良い悪いではなく、**生まれつきの「脳の働き方のタイプ」**であり、**努力によって大きく変わるものではありません**。変えることができるのは周りの環境にあたる大人の関わり方です。

水に浮かんでいる氷を沈めようと押さえつけても、その反動で飛び出すことがあるように、気になる姿や困った行動を抑えようと厳しく叱っても、子どもは反発し、困った行動がエスカレートすることもあります。できるところから、子どもの**発達の特徴に合わせた関わり方**をしていくことで、**子どもにとっても保護者の方にとっても過ごしやすくなる**かもしれません。ぜひ、子どもの行動の水面下を見ることを意識してみてください。

◆ お知らせ ◆

発達支援課ホームページに、のびのび通信のバックナンバーや発達支援の動画もアップしています。

発達支援課 HP/発達支援課 0748-69-2178

